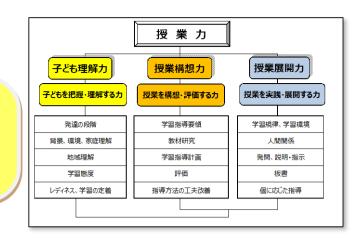
「授業力自己評価表」



大分市の求める授業力・・・

子ども理解力

授業構想力

授業展開力

入力の際は、シートの見出し

を確認してください。

自己評価表の使い方

- ①各観点の評価項目について、できているか自分でチェックしてみましょう。
- ②評価の観点ごとにチャート図となって示されるので、自分の授業力を分析してみましょう。
- ③授業力についての現状や課題を把握して、改善に向けての具体的な方策を立てて実践してみましょう。

○「授業力自己評価表」は、必ずしも全ての観点についてチェックしなければならないものではなく、特定の観点や 項目に絞ってチェックするなど、学校の実情に応じて柔軟にご活用ください。

- (例)「授業力の三つの力」のうちの一つに絞ってチェックする
- (例) 校内研究に関連する観点や項目に絞ってチェックする
- (例) 互見授業や授業観察等に係る特定の観点や項目に絞ってチェックする 等

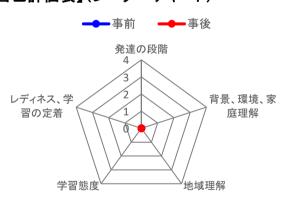




大分市教育センター 研修担当班

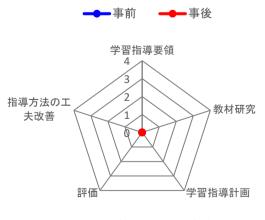
【授業力自己評価表】(レーダーチャート)

子ども理解力



自己課題の現状	改善に向けての具体的な方策	研修後自己評価			
手順3					
「授業力自己評価表」をチェックして、 自己課題の現状を把握し、改善に向けての具体的な方策を立ててみましょう。					

授業構想力



	自己課題の現状	改善に向けての具体的な方策	研修後自己評価
L			

授業展開力

→ 事前 →	-事後
学習規律、学習環境433個に応じた指導	人間関係 発問、説明・指 示

自己課題の現状	改善に向けての具体的な方策	研修後自己評価

授業力自己評価表【事前·事後評価】											
		学校名		氏名		「できている」項目に 「1」を入力する。					
評価の観点 評価規準			評価項目	※自動的に合計されます。	事	前	事	後			
	51	「一川リン住兄」、	計測水準	□ 児童生徒の言動を	「古十1川上只 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		入力 1	計	入力 1	計	
子ども理解	1	発達の段階	児童生徒の発達の段階や個性を理解して	 □ 児童生徒に対して	「傾聴、共感」の姿勢で、声掛けをしてい				1	3	
	·	70~200 1274	いる。		児童生徒の思考スタイル、コミュニケーションカ等を把握している。 児童生徒の発達の段階を把握している。			Y	1		
		北里・7番1舎 家庭との関わりを積極的にもち、児童生徒		□ 児童生徒の家庭状況や生育歴、進路希望等を把握している。 □ 児童生徒の言動に込められた意味等を理解している。							
	2	背景、環境、 家庭との関わりを積極的にもち、児童生徒 の家庭状況等、取り巻く背景や環境を把握 している。		と近められた息味寺を理解している。 関係等、小さな変化を把握している。			0		0		
					連絡や家庭訪問を行うなど、家庭との信 等の特色を理解している。	頼関係を築いている。			1		
	3	w 最	3 地域理解 地域との関わりを積極的にもち、児童生徒	□ □ 地域の強みや課品	夏を把握している。			3		3	
	Ů		が生活する地域の特徴を把握している。		「る要望や期待を把握している。 目わり、教育資源を把握している。		1	ŭ	1	Ü	
力			児童生徒一人一人の主体的に学習に取り	 □ 前学年からの引網	¥ぎや日常的な観察により学習態度を把		1		1		
	4	学習態度	組む態度や学級集団の人間関係等を把握している。		Q−∪検査等から、学級の人間関係を把 人の学習への興味・関心を把握している	座している。		1	1	3	
					態度や人間関係等を教師間で共有して 内容への興味・関心を把握している。	手順2			1		
	<u>د</u>	レディネス、	児童生徒の学習に向かうレディネスや学		N谷への英味・関心を把握している。 Fにより、既習事項の定着状況を把握し			2	1	4	
	S	学習の定着	習の定着状況について把握している。		吉果等を分析し、学年、学級等の学力の 人のつまずきを把握している。	下段のチャート図に	1		1	4	
					(U)) & f E E 16 11 ± C C U · U · S	反映されます。					
			学習指導要領の趣旨, 内容及び学年間,	_	取旨や構成、内容を理解している。 「育成する資質・能力や見方・考え方を理解	上 理解している。	1		1		
	1	学習指導要領	校種間の系統性を理解している。	□ 各教科等の目標	や内容等を踏まえて単元や授業を構想し	ている。	1	3	1	4	
			児童生徒の生活体験の実態等を考慮し、		プ内容の系統性や身に付けさせたい力を 双集し、専門的知識を深めている。	理解している。	1		1		
	2	教材研究	単元の指導目標達成のために必要な教	_	いを把握し、教材研究をしている。	7		1	1	2	
授			る。		に興味・関心をもたせるための教材研究をしている。 教科指導に関する情報交換等を行い、授業に生かしている。						
授業構		学習指導計画 態に応	自校の教育課程に基づき、児童生徒の実	□ 児童生徒の学習意欲を大切にし、子どもの意識が連続する単元を構想している。 □ 学習内容、学習形態等を考慮し、指導計画を立てている。		1		1			
構想	3		態に応じた学習指導計画や学習過程を構 想している。	□ チョ内谷、チョル恋寺で考慮し、指導計画を立てしている。 □ 教科の特質を踏まえた言語活動を位置付けている。				2	1	3	
力				□ 指導計画を振り返り、必要に応じて付加修正している。 □ 観点ごとの評価を計画的に行っている。			1		1		
	4	多様な評価方法を取り入れ,具体的な評 評価 価の観点及び到達目標を明確にし,指導	□ 場面や方法を明確にした評価計画を立てている。		1	2	1	3			
		と評価の一体化を図っている。		□ 児童生徒の学習状況を具体的に想定し、評価規準を設定している。 □ 多様な評価方法を用いて、児童生徒一人一人のよさや伸び <mark>で</mark> 積極的に評価している。				1			
		担保日保の建成を図る上から、主体的・対	□ 児童生徒の活動場面を確保し、主体的に学習に参加できるよう配慮している。		1		1				
	5	指導方法の 話的で深い学びの実現に向けて、多様な 工夫改善 指導方法を工夫し、効果的に活用してい		□ 児童生徒が考えを広げ、深めることができるよう、他者とされまする場面を設定している。 □ ICTを活用し、指導方法を工夫している。			3	1	4		
			ప .	□ 互見授業等を通し	て、日常的に授業を振り返り、改善して	いる。	1		1		
	24. 373 +0 44. 学				□ 環境の美化、学習内容や時期に合った掲示物等、 ・ 室環境を整備している。		1		1		
	1	学習規律、 学習環境	日入11年	□ 表情、言葉遣い、服装等、よい学習環境になっている。 □ 学習の準備の仕方や時間を守る指導をしている			1	1	2		
			7 6 4 %	7 6 4 %	(300%)	_	音導を徹底し、学習に向かう意識を高めて	いる。			
	2	人間関係	教師と児童生徒との信頼関係, 児童生徒					1	1	2	
+352			同士の信頼関係を構築している。		ァーションを図り、児童生 <mark>走</mark> との信頼関係 合い、学び合い、高めるう学習集団がで		1		_1_	2	
文業				 □ 学習状況に応じた	:声の大きさ、速さ、間の取り方をしている) ₀	1		1		
授業展開力	3		指導目標や児童生徒の学習状況を踏まえ た,的確な発問や説明・指示をしている。		ともつことができる。 れた問いを基に課題を設定している。	している。		1	1	3	
開				□ 根拠を問う、比較する、関連付けるよど、思考を深める発問をし		問をしている。					
JJ	1	+c +	児童生徒の 手順3 二効果的な	□ 漢字の筆順や文字の大きさに気を付けて板書している 重生徒の! 手順3 こ効果的な □ 色チョークを活用するなど、大切な事項が分かるよう板	するなど、大切な事項が分かるよう板書		1	2	1	3	
	4				まとめ」等を明示し、構造化された板書を もめて、継続的にノート指導を行っている				_1_	3	
			 自己課題の現状		ためて、経済的にプート指導を行っている 方、感じ方 <mark>が</mark> を賞賛したり助言したりしてし						
	5	個に応じた指導	児童生徒の た指導や助 な善に向けての		たり考えたりする時間や発言機会を保障 犬況によじて、繰り返し指導したり、発展		1	1	1_	2	
			方策を立ててみ		心を記まえた個別指導等、弾力的に学習				1		
_	7 L	ジナ I田 427 十	+2	· *** # # # +	1	拉莱西钼十					
_	ГĊ	ごも理解力	15	業構想力	J	授業展開力					
		→事前	━━事後	→	事前 ——事後	→ 事前 -		後			
		杂達	の段		学習指	学習規 律、学	-				
			階		導要領 / ■	習環均					

